

長野県総務部

ライフプラン

——生涯にわたって充実した生活を送るために

長野県総務部職員課長 山口 恭子

ライフプランセミナーについて

長野県では、在職中から退職後に至る長期的な生涯生活設計の必要性を啓発し、職員が自らの将来を展望し、充実した生活を送るための支援として、従来集合形式で開催していたセミナーを、令和3年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画視聴形式に切り替えました。さらに、セミナー実施後のアンケート結果（開催方法として、動画視聴形式が望ましい形式と回答した職員が7割超）を踏まえ、令和5年度は以下の3つのコースで開催しました（③は、令和4年10月からの新たな組合員制度の創設に伴い、新たにコースを設定）。

- ① 一般組合員30・40歳代コース
（定員100名 → 受講者 66名）
- ② 一般組合員50歳代コース
（定員100名 → 受講者 206名）
- ③ 短期組合員30～50歳代コース
（定員100名 → 受講者 20名）

※全コースとも、対象年齢以外の組合員の申込み可。

セミナーにおけるDVD及びテキストの活用

各コースとも、講義内容は「ライフプラン総論」及び「家庭経済設計」とし、（一財）地域社会ライフプラン協会で作成した、上記①～③ごとのDVD及びテキストを活用しました。DVDについては職員が利用できる共有サーバに保存して視聴（一部の利用不可な職員については講義用DVDを複製して配布）、また、視聴する際は予め職員に配布するテキストを見ながら視聴する方式としました。

セミナー実施後の振り返りと課題

令和5年度は10月初旬から約40日間の受講期間中に292名の職員が受講し、中でも50歳代コースは人気が高く、二度の定員変更をするなど関心の高さが窺えた一方、

新たに設定した短期組合員コースは思うように受講者が集まりませんでした。

アンケート結果を見ると、参考となったテーマやより詳しく聞きたいテーマとして、「老後資金・年金制度」及び「資産運用・iDeCo・NISA」に対する関心が高く、また、実施時期、講義動画時間、講義内容及び満足度について、概ね9割以上の職員に満足していただきました。なお、受講した感想について、多くの職員から「もっと早く受講すればよかった」との意見がありました。

今後も多くの職員、特に20歳代の若い職員が早い段階で「資産運用・iDeCo・NISA」が受講できる機会並びに前述した短期組合員コース受講者数をある程度確保するため、事前の職員に対する案内にもう一工夫が必要だと思いました。

また、開催方法として、集合形式、オンライン形式及び併用形式を希望する職員が合わせて2割程度いますが、今後本セミナー受講希望者が定年延長などにより50歳代で増加する可能性があり、300名を超える職員が受講希望する場合、会場の確保、コースごとの設営方法、想定されるリスクや予算との兼ね合い、といった観点から開催方法のあり方を再検討していきたいと思っています。

貴協会との連携

前述したアンケート結果の感想の他「動画だけでなくテキストもあり、大変わかりやすいセミナーだった」「疑問のある点についてDVDを何回も見直すことができた」「より詳細に知りたい項目がテーマごとに分かれていたため、必要な情報を選択して受講することができた」「DVDを見なくてもテキストだけで勉強できた」といった、DVD及びテキストを絶賛する声が多く聞かれました。

貴協会におかれましては、今後ともタイムリーな話題について、わかりやすい内容のDVD及びテキストのご提供をお願いいたします。